広告特集

住宅・不動産速報

週刊 すみかくらぶ®

VOL.564 APRIL 23

毎週木曜日発行
県内全域31万部

編集・発行 上毛新聞社 広告局
(〒371-8666)前橋市古市町1-50-21
TEL.027-254-9951 FAX.027-253-9999
http://www.raijin.com/sumika/
E-mail：sumika@raijin.com

すみかくらぶ イメージキャラクター すみちゃん

ベーシック＆ナチュラル、天然素材・・・妥協なしのぜいたく

家族構成
夫・妻・長男・長女・次女 Uさんご一家と姪、篠田工務店の設計・工務スタッフ

初めて意見がかみ合った2人

ご主人の実家の敷地内に家をつくることを決めたU夫妻。大手ハウスメーカーや工務店などを探し回る日々が始まった。ところが、細部まできちんと納得したい2人がいろいろ質問しても、しっかりとした答えが返ってこないことも多く、数を重ねても「ここに任せたい！」と信頼できる会社に巡り合えなかった。

3ページへつづく

表紙のつづき

ベーシック＆ナチュラル、天然素材・・・妥協なしのぜいたく

U邸

設計・施工／ iestory(株)篠田工務店
前橋市六供町711
TEL.027-225-0510

また、奥さまは木をふんだんに使った家、ご主人は白を基調にしたクールモダンな家が希望と、意見がかみ合わない。そこで前から気になっていた篠田工務店を訪れることにした。

「あまり気乗りしない妻を連れてお店に伺ってみました。漆喰の利点や魅力、家づくりの特徴などを、担当の小林部長から伺っているうちに妻がすっかり“篠田ファン”になってしまったのです」とご主人。

信頼関係を高める家づくりのプロセス

無垢の木を床に、調湿性、吸放湿性に優れた漆喰を壁と天井に、という篠田工務店の家づくりなら、子どもたちにとっても健康で安心だ。白の漆喰と天然素材をベースにベーシック＆ナチュラルなデザインにも定評がある。

「営業の方をはじめスタッフの方々は皆さん、家づくりの知識がとにかく豊富。素人の私たちに一つ一つ納得できるまで丁寧に説明してくれ、信頼関係が高まりました」とご主人は語る。ようやく意見の一致を見ることができ、なおかつ信頼できる工務店にたどり着いた。

「母屋の日当たりを損ねないよう、建てる場所、家の大きさなどによって陽の当たる角度などを詳細にシミュレーションしていただいたことも助かりました」という。

▲「シンプルで飽きないデザインに加えて、みんなが安心して健康に暮らせる“空気のきれいな家”であることが何よりもうれしい」と語るUさんご夫妻

2人のこだわりすべて満たしてくれた“イエストーリー”

外壁、塀に至るまで総漆喰と三角屋根というシンプルな外観がひときわ目を引く。玄関部はコンパクトな吹き抜けで、廊下を作らず、弧を描くスタイリッシュな中壁を仕切りにしている。その両脇からLDKへと自然な流れを描く。カバザクラを用いた床の淡い色とややラフな肌触りの漆喰は、室内をとことん明るい雰囲気にしている。

▲漆喰の壁と天井、カバザクラの床という気持ちいいくらいにシンプルな色使いのリビング

間仕切りを一切作らない対面キッチンは、完全にリビングに同化し、子どもたちを見守りながら料理できるよう考えられたものだ。キッチン脇には洗濯物の中干しスペースや奥さま用の小デスクなども備え付けられ、利便性が高められている。それでいて、雑然としたところのないシンプルな空間デザインが光る。リビング一角には和室スペース。さらに窓際にある書斎スペースも秀逸なもの。2階は、子ども用の部屋や夫妻の寝室になっている。

U邸は、蓄熱床暖房システムを採用。春先まで寒い日が続いたが、室内温度・湿度など快適な室内環境だったという。キッチンをリビングの主役にしたことでにおいが心配されたが、漆喰効果で、ほとんど残らない。「資金的に手の届く価格で、一切妥協することもなく、すべて気に入っています」と2人が口をそろえる通り、新しい家での物語が快調に滑り出したようだ。

▲玄関を開けるとコンパクトながらも吹き抜け。丸みを帯びた2mほどの壁がLDKとの仕切り。限られた広さを有効活用するためのデザイン

▲2階の子ども部屋。家づくり進行中に次女が誕生したため、途中で図面を変更することになったとか

◆設　　計／ iestory(株)篠田工務店
◆施　　工／同上
◆建築工法／木造軸組工法
◆建築面積／ 66.99m²
◆延床面積／120.89m²
◆完 成 日／2009年2月

【間取り】

★はクローゼット